

～「COOL CHOICE」でストップ 温暖化!～

12月は地球温暖化防止月間です



地球温暖化は、温室効果ガスの増加が原因といわれています。このままでは地球の平均気温が上昇し、異常気象の多発や海面の上昇など、人類の生存基盤を脅かしかねない事態が生じると予想されています。ウォームビズやエコドライブの実践など、日常生活を見直して、地球にやさしいライフスタイルを実践しま

しょう。

12月8日(火) 9:00 から「FMクマガヤ」番組内で、地球温暖化防止について熊谷市地球温暖化防止活動推進センタースタッフがお話する予定です。



ウォームビズ (WARMBIZ) とは?

暖房時のオフィスの室温を 20 度程度に設定し、`寒い時は着る、`過度に暖房機器に頼らない、そんな原点に立ち返り、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって二酸化炭素の発生を削減し、地球温暖化を防止することを目的とした取組です。皆さんも重ね着をするなど、身近にあるもので暖かくして、暖房に頼り過ぎない生活を実践してみませんか。

- ◆熊谷市地球温暖化防止活動推進センター (江南庁舎 2 階) TEL 048-536-0557
- ◆環境政策課 (江南庁舎) TEL 048-536-1547

～冬のエコライフ DAY2020 に参加しましょう!～

簡単なチェックシートを利用して、エコライフを経験していただくものです。チェックシートを見ながら、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を行えば、削減できた二酸化炭素の量が計算できます。地球温暖化防止のため、エコライフ DAY2020 に参加して、ライフスタイルを見直すきっかけを作りませんか。

※チェックシートは、下記で配布しているほか、県ホームページからダウンロードできます。



県ホームページ

- ◆熊谷市地球温暖化防止活動推進センター (江南庁舎 2 階) TEL 048-536-0557

読んで 当てよう! 市報クイズ

今月の問題

次の〇〇に当てはまる言葉をお書きください。
手話は、手や指、体の動き、表情などで表現し、目で見るとは、

アンケート

- Q1 今月号市報の感想をお書きください。
- Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法

ハガキまたはEメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を必ず記入し、12月23日(水)までにご応募ください。(一人につき一通) ※回答がないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目 47 番地 1 熊谷市広報広聴課
☒:kohokocho[アットマーク]city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

直売所外観



お店の方からひとこと
新!熊谷名産!
贅沢フルーツマト“くまとま”!

ジェム ファーム
Gem farm の『フルーツマト「くまとま」』を 10 人にご提供します!



【店舗情報】

ジェム ファーム
Gem farm
住所: 熊谷市佐谷田 2991
電話: 080-9048-3218
営業時間: 9:00 ~ 11:30、
13:30 ~ 16:30

10月号の正解

パナソニック ワイルドナイツ

◆応募総数 74 通中 正解 64 通



自分のあらゆる経験が人生の調味料

かわかみ 川上 ミホさん(熊谷市出身)
フードディレクター



回り道して出会った天職

最初就職したのは、実はブライダル業界でした。食の世界に飛び込んだのは、フランスを旅した時に気付いたワインのおいしさがきっかけ。その後ソムリエ、次にイタリアンレストラン

で料理人として働かせてもらい、独立しました。現在はフードディレクターとして、レシピの考案執筆、レストラン経営など、様々なかたちで食に関わっています。私は自分がどうありたいかを大切にしている、仕事はそのときに何がやりたいかで決められました。うまくいかなかったこともありますが、自分で決めたことは苦にならないので、遠回りもしましたが、全ての経験が今の私の糧です。

熊谷の野菜が私の原点

熊谷は都市と自然と両方あって本当にいいですね。大学まで実家から通いましたが、子どもの頃は、祖父父母の畑で野菜を取って生で食べるなど、自然の中でのびのび育ちました。この経験が私の味覚・嗅覚を培ってくれたと思います。将来自ら料理の道に進むなんて考えてもいませんでしたが、大人になった今思うと、熊谷で生まれ育ったことは財産だと感謝しています。

豊かな自然、アクセスの良さ、野菜のおいしさ、文化……熊谷のたくさんの魅力に気付いてそれを大切にすることは、自分の自信にもつながると思います。皆さんの「私の熊谷の好きなどころ」を聞いてみたいです。

食卓を彩るヒント

レシピを作るときは、誰の何のための料理なのか、ゴールを考えてから組み立てています。後は足し算引き算の微調整。最後に、本当に自分が伝えたい料理か自問自答しています。

料理をおいしく見せるにはお皿も大事。土の質感を生かした、雰囲気のあるお皿がオススメです。逆に、何にでも合いそうなプレーンな白は難しい場合もあります。ぜひ食卓とのバランスで考えてみてください。子育て等で忙しいときは買ってきたお惣菜を活用してもいいと思います。ただ、そのままではなくお皿に移し替える手間をかける愛情が伝わります。義務感ではなく、ぜひ自分ならではの工夫をしながら、食卓を楽しんでください。



テーブルコーディネートをしている様子



Instagram

●発行日 令和2年12月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町一丁目47番地1
TEL 048-524-1111(内線2006) FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行し、自治会を通じてお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) http://www.city.kunagaya.lg.jp/

『かさじぞう』

市立熊谷図書館

その14

～絵本の時間です～

絵本は子どもが最初に出会う総合芸術といわれ、日本を始め世界中で多くの絵本が出版されています。「絵本」と一言でいっても、赤ちゃんから小学生、広くは大人まで対象は様々。

ここでは、子育てや孫育てで読み聞かせを楽しんでいただきたい絵本をご紹介します。



瀬田貞二/再話
赤羽末吉/画
福音館書店

「むかし、雪国のあるところにびんぼうなじいさんがいて、おおみか大晦日に正月のもちを買うために、町へあみがさを売りに行ったが、ひとつも売れません。しかたなく家へ帰る途中、吹雪にさらされたお地蔵さんに、売れ残ったあみがさをかぶせて帰った。さて夜中、なにやら外が騒がしい。するとあみがさをかぶったお地蔵さんが米やらこがねやらをどっさり届けてくれて、じいさんは幸せにくらしたとさ。」という日本の昔話です。

画者は日本を代表する絵本画家赤羽末吉氏。独学で絵を学び、40歳から絵本を描き、50歳で初めて『かさじぞう』を出版しました。70歳で国際アンデルセン画家賞を受賞し、その

スピーチでは、「30年間絵本を描き続けてきたが、しかし本当に子どもたちのための絵本を描けるとしたら、たぶん90歳になってからであろうと思います。」と語り、80歳で亡くなるまで、日本の風土や伝統を、昔話の絵本にして子どもに手渡し続けました。昔話を読んでもらったことがある方なら、きっと一度はこの絵を目にしたことがあるでしょう。

令和2年は、赤羽末吉生誕110年・没後30年で多くの作品が再版されました。この機会に赤羽末吉氏の絵本を親子で味わってはいかがでしょうか。

◆市立熊谷図書館 TEL 048-525-4551

人口と世帯

●令和2年11月1日現在(対前月比)

■人口 195,644人(-170) 男 97,822人(-82) 女 97,822人(-88) ■世帯 87,705(-7)

「市報くまがや」12月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり17円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。